

情報公開文書

研究課題名	妊娠中に合併した乳癌、および分娩後 1 年以内に合併した乳癌に関する実態調査
研究体制	<input type="checkbox"/> 長野赤十字病院が責任研究機関となる <input checked="" type="checkbox"/> 他施設が責任研究機関となる共同研究 (責任研究機関：徳島大学病院)
研究責任者	責任研究機関 所属 <u>地域産婦人科診療部</u> 氏名 <u>加藤 剛志</u> 当 院 所属 <u>乳腺内分泌外科</u> 氏名 <u>浜 善久</u>
研究期間	(西暦) 研究許可日 ~ 2023 年 3 月 31 日
研究の概要	(研究の目的および方法) 近年の晩婚化晩産化により、若年の女性に発症する頻度が多い子宮頸癌と乳癌は、発症時期と妊娠時期との重複がおこっています。妊娠中および産褥期に発見される妊娠関連乳癌は、妊娠していない時よりも発見が遅れることがあるほか、特に授乳期に発見される場合には予後が不良である可能性も指摘されています。さらに、その後の妊娠の経過や出産後の家庭環境への影響が大きく、産婦人科の診療現場では何らかの対策が必要であると考えられています。妊娠は 20~30 歳代が中心で、乳癌検診の対象とはされていない年代であり、妊娠関連乳癌に対する新たな対策として、妊娠を希望する女性に対する「プレコンセプションケア (妊娠前に自身の健康状態を把握しておくこと)」が期待されています。しかし、妊娠関連乳癌の発生状況や臨床的背景の正確な把握はされておらず、正しい情報に基づく啓発運動や、医療従事者に対する教育活動のあり方についても確立していません。そこで、有効なプレコンセプションケアのあり方を検討する前段階として、本邦における妊娠関連乳癌の現状を把握することを目的として本研究を計画しました。
試料・情報	乳がんの診療に関する診療記録および臨床検査データ
研究対象者	2018 年 1 月~12 月に当院で妊娠中または産後 1 年以内の時期に乳がんを診断または治療された方。 ※当研究に自分の情報を使用してほしくない場合は下記のお問い合わせ先までお申し出ください。
個人情報の保護	収集したデータは、誰のデータか分からなくした (匿名化といいます) 上で使用いたします。国が定めた倫理指針 (「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」) に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定できない形で行います。
お問い合わせ先	〒380-8582 長野県長野市若里五丁目 2 2 番 1 号 長野赤十字病院 所属 <u>乳腺内分泌外科</u> 氏名 <u>浜 善久</u> TEL : 026-226-4131 (代表) FAX : 026-228-8439